

港区立東町小学校
令和4年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<ul style="list-style-type: none"> 各学年の共通の課題は、「書く」単元における指導である。低学年では、身近なことを表す語句や自分の思いや考えが明確になるよう書くこと。中学年では、表現するために必要な語句を身に付け、身に付けた語句を使って適切に文章を書くこと。高学年では、漢字を正しく書き、根拠に基づいて自分の考えを書くことである。 「読む」「話す・聞く」については、概ね各学年、学習できている。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に資料を活用して必要な情報を調べてまとめたり、根拠をもって表現したりすることにおいて、児童の能力に差がある。全体的に児童の思考力、判断力、表現力を伸ばしていく必要がある。 5年では、自然災害を防ぐための取組に関し、資料をもとに、その取組の目的について考えたり、年表を読み取ったりする力を伸ばしていく必要がある。 6年では、「政治・国際」は、専門用語を把握することと、その詳細な説明を新聞などでまとめていくこと。「歴史」はその事象についての成り立ちや起こりなどについての考えを表現していくことが課題である。
算数	<ul style="list-style-type: none"> 学力調査の正答率は全国と比べ、6.2ポイント上回った。領域別正答率では、区平均と比べ、「データの活用」が4.2ポイント下回った。問題の内容別正答率では、6年「円グラフや帯グラフ・平均」が4.2ポイント下回った。 その他の学年の課題として、数量関係を言葉や式、図に表したり読み取ったりする力(1年) 量の単位を用いて身の回りのものの特徴を的確に表す力(2年) 問題を丁寧に読み取り、根拠をもって解決する力(3年) 小数のしくみ表し方(4年) 数直線や図をもとに多様な見方を表現する力(5年)が課題である。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 実験結果をもとに考察したり、グラフなどで分かりやすく記録したりすることが、課題として挙がっている。また、時間がたつと忘れてしまう傾向もあるため、記録をしっかり取るなど、定着させられる手立てを考えていく必要がある。正しい実験方法についても正しい技能を身に付けさせる必要がある。 5・6年生では、生き物の1年の様子、動物や植物の体のつくりなどの生物領域に課題がみられる。体のつくりの筋肉様子などについても理解できている児童が少なかった点が課題である。

2 各教科の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	表現するために必要な語句を身に付け、身に付けた語句を使って適切に文章表現をする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に文を書いて表現する場を設ける。表現する際に使える表現や言葉を例示し、適切に文章を表現できるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	資料を活用して必要な情報を調べてまとめたり、根拠をもって表現したりする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> 調べたことが自分たちの生活においてどのように必要なことであるかを気づかせるようにする。 ICTを積極的に活用して、視覚的に理解を深め、学習課題を捉えやすくする。 興味関心のある単元を中心に、少人数グループで自分の考えを伝え合ったり、クイズ形式等で主体的に参加できるようにしたりして、思考・表現能力を伸ばせるようにする。

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
算数	立式の根拠について筋道を立てて考え、説明する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> つまづきを明確にし、習熟度に応じて東京ベーシックドリルやまなびポケットを活用し、既習事項の定着度を確認、不十分な場合は、個別指導を行う。 低学年では、問題場面を動作化や操作活動を取り入れて問題を

		<p>理解させる。中学年以降は、問題場面と図や表、式を関連付けて考えさせ説明する場面を充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・習熟度に応じたペアや少人数グループで自分の考えを伝え合う時間を多く取り入れる。 ・学習したことを生活や他の教科でも活用する機会を増やす。
--	--	--

理科	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	自然に親しみ、自然の事物・現象についての問題を科学的に解決する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・児童にとって身近な課題となるよう、自然事象との出会いの場を工夫し、生活経験に結び付けて考えることができるようにする。 ・児童の興味・関心を引き出していけるよう、自分の考えを相手に伝え合う場面を多く設けるとともに、気付きや自分の考えをノートやワークシートに、図や言葉を用いて表現する活動を設けていく。

生活	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	身近な人々、社会及び自然を自分との関わりで捉え、自分自身や自分の生活について考え、表現しようとする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に見たり触ったり出会ったりするような場を工夫することで、児童が「こうしたい。」という思いや願いを膨らませ、主体的に活動できるようにする。 ・交流や認め合いの場、ワークシートなどを用意し、自分や友達の活動のよさに目を向けさせる。

音楽	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽と豊かに関わる資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・表現及び鑑賞を通して知識・技能、思考力・判断力・表現力を相互に関わらせながら一体的に育成する。また、自分の思いや意図を表現に生かせるように発問や場の設定、さらには、児童が安心して表現できる環境、自己のふりかえり、聴き合う場などの場の設定の充実を図る。

図工	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階に沿って、様々な材料や用具等による造形活動を充実させる。また、活動の最後には、言葉や考えを整理したり、作品等について説明し合ったりする鑑賞の時間を設けるなど、造形的な見方や考え方を広げ、深める等の言語活動の充実を図る。

家庭	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	家庭の中での自分の役割を見つけ、できることから取り組もうとする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・裁縫や調理など、身の回りで取り組みそうなことを話題に挙げ、作品やカードなどで発表する機会を設定する。 ・裁縫やミシンの学習では、授業のはじめに使い方を確認する時間を設ける。教科書の「いつも確かめよう」を活用させたりして、技術を定着させる。

体育	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	進んで運動に親しむ資質・能力 自己の課題を見付け、その解決に向けて思考し判断する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の基本的な動きや技能を身に付けられるように、各運動（運動遊び）の動きや技のポイントを明確にした場を設定する。 ・課題を解決するために、自分で練習の場を選んだり、友達と協働したりして解決することができるような学習活動を設定する。

国際	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	英語に親しみ、主体的にコミュニケーションを図ろうとする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・キーセンテンスを繰り返し言う活動を通して自信をつけさせたり、歌やチャンツなどの取り組みやすい活動で達成感を味わわせたりして、進んで次の活動に取り組めるようにする。 ・児童の実態や季節・行事に合わせたアクティビティの場面を設定し、実践的な英語を発話する機会を増やす。

道徳	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	国際社会を力強く生きる児童を目指し、向上心と柔軟性をもち、共生しようとする資質・能力	<p>話し合い活動を充実させ、ワークシートやノートを活用して考えたことや感じたことを書く場面を設け、振り返りをする時間を十分に確保する。</p> <p>友だちと自分との違いについて気付けるような資料を扱う時間を設ける。</p>

特別活動	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	みんなで楽しく豊かな学級や学校の生活を作るために、他者と協働して取り組むことの意義を理解し、合意形成を図ろうとする資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・解決方法について理由などを比べ合いながら、合意形成を図ったり、協力し合って実践したりできるよう、必要に応じて教師が児童に助言する。 ・学級会のツール(黒板掲示、司会台本等)を用意し、学級の実態に合わせて活用するようにする。 ・集会活動実施後は振り返りをし、次回の集会活動に生かすことができるようにする。

総合的な学習の時間	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
	実社会や実生活の中から問題を発見し、疑問をもち、その課題を解決する資質・能力	<ul style="list-style-type: none"> ・タブレット端末のプレゼンテーションソフトを利用して、まとめる力や表現する力が付くように指導する。 ・外部講師を招いて、深く学習を進めていけるようにする。 ・目的意識をもって課題解決できるよう、ワークシート等を活用し、学習の見通しをもって取り組めるようにする。